

暗証番号の今昔

札幌市医師会
ほし内科消化器科クリニック

星 秀樹

令和元年六月の爽やかな風にのせて、こんな文章を送ってよいものかと気が引けました。が、全道の中からご指名を頂いたとなると、ジャンボ宝くじの当選より希少価値があると考え直し、皆様の寛大なお心で、よろしいでしょうか。

私の記憶の中で、初めて暗証番号が現れたのは、銀行のキャッシュカードではなかろうか。その時の番号は、生年月日そのものであったが、銀行からの再三の注意が気になって、いつしか変えてしまった。それでもやはり忘れづらい生年月日の関連で、今日まで使っている。銀行側は、建前上だとは思いますが、「同じ番号をいつまでも使わないで時々変えてください」などと言う。そんな人がおるんかいな、と思ってしまう。

そもそも暗証番号は、記憶の中に書き込んでいるものなのだから、思い出すのが無理な番号や何回も変えてりゃ、その内混乱するに決まっている。最近では、この手の番号が多くなって、閉口している。

5年ぐらい前に、ガラケーからスマホに換えた。機種を選定に迷ったが、筆圧が強い私は、タッチが悪いとすぐに画面が他に飛んで行く。それでイライラするのが嫌だったから、プライドをかなぐり捨てて、らくらくホンにしたのだ。すると、ドコモID、SPモードパスワード、ネットワーク暗証番号など、一気に面倒な番号が増えてしまった。

かなり前から使っているクレジットカードも、今まではサインだけで良かったのだが、数年前から暗証番号が必要になった。仕方がないから、18年来の相棒、メインクーンのレオくんのお誕生日をお借りして使っている。

学会もそうだ。たいした個人情報も載っていないのに、面倒にもIDとパスワードがいるのだ。ある学会は数年前から雑誌をやめてメール配信になったが、浮いた印刷代や紙代はどこに消えてしまったんだろう。ま、余り読まない重い雑誌が無くなっただけでも、ヨシとするかあ。

学会といえば、ある学会に会費を払おうとして、IDとパスワードを入れたが開かず、「他のブラウザをご利用ください」と来たもんだ。たくもう、らくらくホンじゃ、ダメなんかーい。結局、学会本部に電話をして、振込用紙を送ってもらうことになった。因みに日本医師会でやっているe-ラーニングや日医Libも、私のスマホじゃ無力だ。

最近、十数年周期の持ち回りで、久し振りに二回

目になるマンションの役員をやった。管理会社などへの毎月の支払いや修繕費の支払いに、いちいちサインと印鑑は、手間がかかる。それでe承認サービスというのが利用されていて、もちろんそれにもIDとパスワードがいる。入ると詐欺があるので十分にご注意をと脅かしてくれる。こちらの支払いには、自分以外に他人様のお金も入っているし、額が大きいので、ついつい慎重にならざるを得なかった。速い展開のこの世の中じゃ、今回の役員の時は、どう変わっているのか予想もつかない。

そうそう、この間、車のリコールを調べるのに、車台番号が必要だったっけ。なんでこんなにリコールが多いのだろうか。たいして謝りもせず、付け替えばそれでいいと思ってるんだらうなあ、きっと。

ここで文字数の調節のために、ちょっと寄り道を。16年間乗った車を諦めて、あるメーカーの車を買った。当然スターターが付けられるものと思っていたが、ディーラーはセキュリティ確保のためにダメだという。この北海道で快適に乗るためには必要なのと思ったが、作り手はスターターなんて、はなっから頭にないらしい。あるテレビ番組で、外国に残してきた家族に、お土産を持って帰るという企画があった。ウォシュレットをプレゼントされた家族は、温水が当たる度に、ファンタスティックを連発して、大感激していたのを思い出す。これぞ、使い手に寄り添った物作りの日本人！

さて話は元に戻って、車関連なら、免許も確か4ケタの暗証番号をつくった記憶があるが、4年ぐらい前のことで、そんな番号なぞ憶えているはずがな～い。今年更新なら、迷わず0181にするところだ。

最近ならあの長ったらしいマイナンバーか。今のところ必要なのは、年末調整の書類だ。自分のだけならまだしも、職員のもチェックしなきゃならないとなると面倒だ。

まだまだあるゾー！ クリニックの医者なら、医籍登録番号、法人番号、医療コード番号、金庫などなど。当院ではもう麻薬は使っていないので、金庫の中はしばらく空っぽになっていた。友人が保健所の立ち入り検査を受けた時、生検用のホルマリンが劇薬と気付かず、管理を注意された。カギのかかる戸棚でいいそうだが、もったいないから、当院は金庫の中だ。

こんなに番号が必要な世の中じゃ、もう憶えてるなんてとても無理、無理。ということで、全部スマホに入れてしまったのはいいけれど、大事なスマホを落としたんじゃないかと思った時があって、見つけるまで、すご～く不安だったなあ。

かくしてスマホ中毒者たちは、今日もゆく～。